

令和6年度盛岡第二高等学校第2回学校運営協議会 議事録

令和6年10月23日(水)

14:00~16:00

場所:盛岡二高 会議室

進行:副校長 記録:総務課

○出席者 学校運営協議会委員 7名

学校職員 11名

○日程 12:50 受付 13:00 授業参観 14:00 学校運営協議会

(1) 開会の言葉 (進行:副校長)

(2) 会長挨拶(PTA会長)

本日は第1回学校運営協議会以降の報告を受けて委員の方々からご意見をいただき。そして今後の学校運営のより良い在り方を模索していきたい。

(3) 校長挨拶(校長)

今回は学校経営計画の中間報告が中心となる。分掌の中間反省会で話題となった点を報告する。ご忌憚のない意見をお願いしたい。

(4) 令和6年度中間報告

ア 学校経営計画中間報告(校長)

今回は学校経営計画の4目指す学校像(2)取組方針について報告する。

【(2)取組方針】

ア 授業の充実と基礎学力の定着を図る

- ・授業でのICT活用、教員間の公開授業、模試の実施、ミニプレゼンテーション、美プロサマーなどを行った。

イ キャリア教育の充実により、進路希望の充実を図る

- ・大学講師を招いての訪問講義、ウインターセッションへの参加、1年生の大学訪問など生徒の進路実現を目指した取り組みを行っている。

ウ バランスのとれた教育活動を実践し、主体性と協調性の育成を図る

- ・体育祭、合唱コンクール、二高祭などの学校行事や各学年で行う健康教室など、全人的に生徒が育つように行っている。

エ 学校いじめ対策組織を有効に活用し、組織的にいじめの未然防止・適切な対処に当たる

- ・年度始めに人間関係作りを目的にグループワークや個人面談を実施。いじめ対策としては生徒アンケートや教員研修を実施した。

オ 地域とともに歩む学校として、開かれた学校づくりを推進する

- ・中学生一日体験入学、学校へ行こう週間の実施。

カ 生徒を個人として尊重し、不適切な指導を根絶する体制を組織として構築する

- ・岩手モデルを基にした教員研修会の実施。いじめ撲滅の宣言書を作成し HP に掲載した。

委員： ハイパーQU とはどのようなものか

教育相談：学校生活における生徒の満足感や意欲、学級集団の状態等をアンケートによって測定するもの。

イ 各課中間報告（各課主任）

【総務課】

- ・式典はコロナ以前の形に戻し実施した。学校へ行こう週間はこれから実施。
- ・PTA 活動は活発に行われている。来年度は PTA 総会の出席者を増やしたい。
- ・創立 130 周年に向けて、年度内に準備委員会を開催予定。

【教務課】

- ・家庭学習時間が年々減少しているのが現状。今年度より 45 分授業となったが放課後の時間の活用の仕方に差が出ている。11 月の調査を受けて対応したい。
- ・4 月の面談月間は有効だった。来年度も継続実施を考えている。
- ・ICT の活用については、教員側の使用は定着してきた。生徒の活用についてもロイロノートなど活用の場面が増加している。個々の先生方が様々な工夫をし活用しているが、今後はそれを全体で共有していきたい。

委員： ロイロノートとは何か。

教務： 授業支援、協働学習のために開発されたクラウド。生徒間での意見の交換・共有、小テスト、課題の提出など多くの活用方法がある。多くの小・中学校でも導入されている。

【生徒指導課】

- ・夏季の服装について、今年度よりポロシャツを導入した。登下校も熱中症予防のために運動着での登校を認めた。登下校中に体調不良を訴える生徒はいなかった。
- ・校内での学習を目的としたスマートフォンの使用を許可した。マナーの指導が必要と感じている。
- ・前半の生徒会活動については体育祭、合唱コンクール、二高祭を昨年度の反省を踏まえ、改善しながら実施した。二高祭一日目のステージ発表は暑さ対策のため県民会館を使用し行った。

- ・交通安全については、自転車マナー、公共交通機関の乗車マナーについての情報提供が数件あった。その都度、生徒には注意喚起を行っている。

委員： 運動着登校のきっかけとスマートフォン使用を認めた経緯を教えてください。

生徒指導：運動着登校については、本校の制服が非常に暑いことと、自転車で登校した生徒が熱中症になったことから、他校で運動着登校を認めていることを受けて、本校でも認めることとした。スマートフォンの使用については、今年度より1年生が個人のタブレット端末を持参し授業で使用する、先生方が様々な情報を teams で発信することが多くなったことから、校内での学習のためのスマートフォン使用を認めることとした。

【進路指導課】

- ・現在、3年生の総合型・学校推薦型選抜試験に向けて、職員全員で指導にあたっている。
- ・大学模擬授業、志望理由研修会、小論文講演会など各学年に対応した講演会を実施した。
- ・生徒の進路講演会の他に、学年 PTA において保護者向けの進路講演会を実施。

【保健厚生課】

- ・肥満対策として自販機の販売商品の見直しを行った。
- ・遮光カーテンを各教室に取り付け予定。

【教育相談課】

- ・スクールカウンセラーは2名。生徒の心の拠り所となっている。突発的な相談にも対応している。
- ・年度始めに行ったグループワークは新年度の緊張を和らげスムーズに高校生活に入ることができ、大変有効であった。

【図書課】

- ・生徒の進路やリクエストに応じた図書購入を実施している。
- ・学校読書会は全学年ともビブリオバトル形式で実施する。
- ・全学年でプレゼン能力を高める目的でミニプレを実施している。

【情報・研究】

- ・タブレット端末については、1年生は個人購入。2. 3年生は学校の生徒用端末を使用している。

(5) 意見交換

委員： 近年、二高の受験者数が減少している。今後の対策・展望についてお聞きしたい。二高に入るとこういう力がつくということをもっと宣伝した方が良いのではないか。二高の強みを伝えてほしい。また、キャリア教育のため、さらに講演会を充実させてほしい。

校長： 受験者数の減少については、来年度の盛岡地区の定員がかなり減るので今度の入試がひとつの分かれ目になる。女子しか在籍していない現状を踏まえ、本校の魅力をしっかり分析することが大切。学力がつき様々な進路選択ができること、部活動や行事をとおして人間関係力が見につくということを強みにし、伝えていければと考える。

委員： 二高の同窓会は月1回の役員会や在校生への激励費の配付など活発に活動している。同窓会総会などに若い卒業生にも積極的に参加してほしい。高校生の時期は悩んで進路を決める大事な時期。同窓会でもサポートしていきたい。

委員： 教育は不易流行。ICTのメリット、デメリット両方ある。資料と説明から先生方が熱心に取り組んでいる様子が分かった。先生方の笑顔が生徒の充実した高校生活につながると思う。

委員： 新しい高校入試制度について、中学校でも勉強中。入試制度、二高の理解を深めていきたい。中学校にも要望を出していただき、連携して良い生徒を育てていきたい。

委員： 今年度の「ネクジェネいわて」(未来を若者と大人が考えるイベント)は北上で実施。少し遠いが二高生に宣伝してほしい。また、岩手県では家事・育児シェアに関する情報を閲覧できるWebサイト(家事育児シェア大作戦)を作成した。岩手県全体の女性の社会活動の推進に繋がればと考えている。

委員： コロナ禍により、小学生、中学生の頃、人との直接的なかわりに制限のあった世代。積み重ねの経験がない。二高は立地条件が良く、周りに生徒のための受け皿が多いので、生徒は様々な経験ができる。アンテナを高くし、生徒の背中を押してほしい。Noteを積極的に活用し、学校をどんどん紹介してほしい。

(6) その他

(7) 閉会の言葉